

よりわれわれは鉄筋コンクリート建物の完成の防音工事をこのことを強く望
んでいれども運動をいふに人々が又其の反面木造建物の補助金をあ
さういふものもそれなり又即ちに行ふ結局人口急増に対する
措置として多く所々負担しながらわが市が補助金も木造建物といふことは
非とも避けたこと、このことをいふは従ふべき防衛の方針の鉄筋建物の
完成が防音装置を施した建物に切り変えなるといふ面々は結局まだ建
て年数が浅いと新しい校舎でも取り壊して結局鉄筋建物に移りかゝるわけ
ですから是非この方針に従ふ私は各学校の施設を完璧な防音工事を施した
施設にせよといふは、これには今の設備としてこの強腰や頑張りもその
小学校を完成しただけで十九年度に於て小学校にかなうといふ方針に従わざるを得
ないといふ、ます。陳列室すようすか、その外上、必ず二部教育をすべ
だといふのが最良の事態が出ることを当然又考えなければならぬ。たと
木造でも更地を思ふために教室を増築する、このことも考えられすし、その

カウ、この設置方法もあるわけですが、その間校長に聞い
 てみても、それよりも、意見も聞かれています。このよう
 な意見も聞かれています。このように、この運動は続け
 られると思います。これは、この運動は続けられると思
 います。これは、この運動は続けられると思います。これ
 は、この運動は続けられると思います。これは、この運
 動は続けられると思います。これは、この運動は続けられ
 ます。これは、この運動は続けられます。これは、この運
 動は続けられます。これは、この運動は続けられます。こ
 の情勢は先程米繰り返した通りです。

一主番(大久保一郎)が、この国の方針であるという大蔵省の方針であるというところを
得ないわけですが、又それが考えた方といふものは私に正し、だからとすゝて事が
始まるだらう。長くマライカといふことは決して好まし、状態はなし生徒
に対してやはり上等にすべきことか、これは好まし、ことをあつて考へます
けれども現在直面上の二つの学校は校長が、うふう何んとか間に
あつたやうと言つたのか、それは町長の説明は何が食ひ違ひがあつたのだらうと思
いますがおそらく二人がこゝを言ひまゐると思ひ、それを特別教室を
全部づいて以外にな、と思ひます。けれども今も教育がこゝか更にか、これは
先程の教育長の答弁にもあつたりするからこゝで今より、四かふ五の場合特別

と、この場合でも、通しをレイおりました。二の関係も先程町長から申しました
答弁がありましたが、もう一度オノオノの防音工事の関係について、この際
私は皆さんに申し上げたい当局の方では、いろいろよくあるところを、大御う承
願したいと思っております。まずオノオノの防音工事にについては町長が答弁された通りで
ありまして、昨年末オノオノの当局に要望して参りましたが、回数や言えれば何回
行ったか向うへ送られたり、私どもは、おそれた。又町長も随分辛抱よく、こゝろ
を考えたが、なかなか、けうは、おそれた。オノオノの今年度の防音工事さても今
年度の中算に当初から考へ方は容易ではないが、たのびであります。途中に
おノオノがその集めと言ふことは話しかけた、んやすが、おそれた。によつて、よく大
教室の中算を獲得したの、べつです。が、この実は大変ありがた、わけです。
一、三十七年度に手をつけられたが、当時のいき方とレイ、やが、三十八年度にはシ
十九年度の三十九年度にわたって完成させるといふ見通しは、わかれ付はつきり、つか
めたわけですね。これは先程町長から所説のように、大蔵省防衛庁の方と

レインにダライシオスにだけ教育の支障を省三と、このが国の方針で
あかると水を聞かせられれば私もそのことにすればよいものだというふ
うに考えます。オーストリア八年度を軌道にのせてもらえたのは非常にありが
たひですがオーストリアの三十八年度の見通しがこの年の私は少しも
執拗に本邦局の方にやまつたわけはなし。ところが先日もうすつと職務委員会
に申しあげてんじすがこの間本邦の係官と局の係官が基礎に参りましてから
しづかに其の際に高木部長が私の右指しもつていかに会った、このオースト
リヤと、わけは私は事務所に参りましたが高木部長は更はずう、このよなわ
けでもオーストリアにいくといふ一年度に政府事業として完成させることになかのわけ
水も骨をおうかりししがオーストリアにはあなやがたがおっしゃるべき
をあるいはわけはなし、所長もその話をしていられるのですけれどもこの際大
蔵省、財務省の方針として二つあったんだからこの際これを執拗に言入るの
というところはもとほとんど大蔵省、本邦局にしろも非常に感情を害してしまつたから

発言をせしめられたいとあります。校長が申し述べた文障が、あの方のまわりな
からなると、間にあると、いろいろなことを言わせないよう、に教育長の方から教
育に注意し、もう、た、われわれの審議の過程に、い、われわれが影響する問題、あ
ると思ふの、い、あ、な、とも教育の問題を取り上げ、い、あ、い、は、道路の問題も取り上
げ、い、われわれは、い、分に、審議を、い、新しい、方向にも、い、い、二、三、と、い、あ、の方、の、い、
のように、間、にあ、あ、な、い、の、あ、わ、り、な、から、間、にあ、あ、な、い、う、こ、は、断、り、い、許、す
こ、は、い、ま、な、い、二、三、う、こ、の、な、い、う、に、い、れ、は、注、告、し、い、もう、い、た、い、か、よ、り
に、思、い、ま、す。い、れ、か、う、こ、う、し、た、今、教育長の説明の中にも、あ、い、は、町長の
説明の中にも、八月、九月、頃、借金を集め、い、は、な、ん、と、か、な、り、場合、も、あ、あ、な、い、う、
ふ、う、は、説明が、な、さ、れ、た、ん、い、す、が、い、う、こ、う、こ、に、な、り、ま、す、か、こ、り、に、五、十
万、の、金、か、う、こ、う、の場合、に、い、あ、い、こ、は、い、は、り、一、町、の、校、の、工、事、が、始、ま、る、こ、う、こ、も
現、に、な、り、い、れ、か、大、蔵、省、の、方針、に、つ、い、た、う、あ、い、と、従、い、ご、う、い、れ、も、当初、に、組、む
こ、う、こ、に、い、つ、い、町、長、は、い、め、教育長は、最大、の、努力、を、い、し、い、もう、い、た、い、い、れ、い、い、

と、い、れ、は、大、き、な、問題、に、な、る、と、い、は、り、私、は、平、言、い、ま、す。い、れ、われ、議員、が、二、部、
教育を、わ、り、な、から、い、れ、を、懸、つ、い、た、の、い、は、議員、こ、れ、の、資格、は、な、い、の、い、あ、り、
ま、す。い、れ、われ、は、あ、く、ま、議員、と、い、福生、オ、オ、学校の、二、部、教育を、懸、け、か、た、め、
に、免、責、し、い、の、い、あ、り、ま、す、か、ら、い、う、い、免、は、免、分、頭、に、あ、い、御、審、議、を、懸、
い、た、い、思、い、ま、す。い、う、い、た、い、と、非常、に、困、る、問題、が、起、る、の、い、は、い、い、か、あ、く、ま、私、
は、あ、い、若干、の、不利、が、あ、あ、り、と、も、免、は、り、筋、を、通、し、い、こ、こ、は、い、れ、われ、われ、の、議、
員、の、本来、の、責、任、が、あ、あ、り、と、か、よ、り、考、え、ま、す。の、い、徹、底的、に、い、い、ま、す。い、た、い、い、れ、が、
私の、意、願、に、い、ま、す。い、ま、す。ご、う、か、い、う、い、免、は、り、い、免、は、り、い、免、は、り、い、免、は、り、い、免、は、り、
議員、が、あ、あ、の、い、い、あ、い、こ、こ、は、い、い、り、り、り、と、町、長、も、努力、を、も、う、す、れ、は、い、
又、福生、二、部、も、歩、調、す、な、い、う、ふ、り、に、確、信、を、も、つ、い、あ、り、ま、す。福生、町、に、二、部、
問題、が、起、ち、い、オ、オ、の、工、事、が、中、止、に、な、り、オ、オ、の、工、事、が、促進、さ、れ、か、と、い、う、こ、を、
う、な、ら、な、く、い、も、新聞、に、い、い、あ、い、と、あ、い、場合、に、は、決、し、い、好、ま、し、い、状態、に、な、く、
来、の、福生、の、ス、イ、ス、に、な、り、い、あ、い、り、限、り、今、町、長、さ、い、い、め、理事、者、の、方、が、努力、し、

一 福生の発展のために本当に努力してゐる事は感謝するわけが、
 隣接町村よりあつた行政面は一歩進んで努力という事は私も非常に
 感謝してゐるわけでございます。けれども二つ三つの問題から福生町がくずれ
 へた一歩から非難され、これは今後の行政が不利になると、この様な、ように
 特にこの是非常に重要な問題をぼろろあります。是非とも最大の努力を
 して、来年度の当初に仕事が始まるようにしたと云ふか、月々も郡営住宅の方
 にも建設費をかけ、ための、この方法を講じてもらう、たゞ、もし本道でも、
 かならず、この、昨年九月七日に町長さんの三大構想の時に申し上げた
 一、この二つの、この、この、今までの努力を生かして、当初に組めるように最大
 の努力をしてもらう、このことを強く要望いたします。一、本件は、この、
 一、終了します。

一町長(瀬古清蔵)大久保議員の御発言よくわかります。その意思に力を入れます。

リトあります。しかしながら私は三部教育といふことは考え入りません。又
方はなんほかあつたわけです。現段階はプラスからマイナスも四十五名を
おろす面もあるわけですが大体一人の教員が七十名程度は受けもつても決して
支障がないわけですから、この面でも小學校もそのようになるのではないかと
思います。一部教育だけは避けたいと考へるわけですが、この様な措置
を取り方があるわけですから充分分り、ものを考へてくれ先程申し取り
ますように通知するのとかなりいふことが繰り返しましたがあつて当初
予算などもなにかしらつけとつてしまつたけれどもそれではとうとう不可能です。
それから、いま度々なく彼が支障がある、ように志願の方針に従うし、かつ彼が
われも精根をこめて事業を視していふことか所のプラスとあると考えます。
四十名、五十名にせよ、プラスと云ふは、七十七名に諸君ものは無理だと直感さ
れかねようけれども二部教育といふような事態を折ち出さないで大体かつて
いけりとするれば、その程度の我慢は必要を得ない、これは確かであり、と考へます。

